

道立羽幌病院の概要



1【病院の沿革】	2
2【病院概要】	5
3【病院の理念等】	10
4【病院の組織機構等】	10
5【病院の特徴等】	11
6【病院の運営方針】	13
7【これからの病院運営方針】	15



令和6年4月
北海道立羽幌病院
(暫定版)

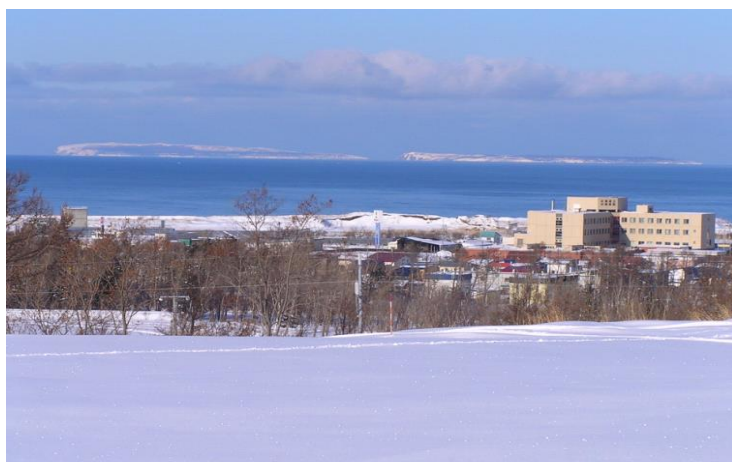
道立羽幌病院の概要

令和6年4月
北海道立羽幌病院

羽幌町は日本海に面した農業と漁業を中心とした町で、札幌から車で約3時間の距離に位置します。

天売島の「海鳥繁殖地」、焼尻島の「焼尻自然林」は天然記念物に指定されており、夏季には多くの観光客で賑わう観光の町でもあります。

道立羽幌病院は羽幌町を中心とした周辺町村の医療を担う地域センター病院として、地域に根ざした信頼ある医療の提供を心がけています。



(天売・焼尻島と道立羽幌病院を望む)

1 【病院の沿革】

(1) 道立羽幌病院のあゆみ

昭和25年5月 羽幌町戸田医院を買収し、羽幌町立国民健康保険病院として開設

昭和28年8月 羽幌町から北海道に移管され、北海道立羽幌病院を開設

診療科目 内科・外科・小児科・産婦人科 病床数 48床

昭和50年12月 旧病院より移転開設 診療開始

診療科目 内科・外科・産婦人科・整形外科 病床数=106床(一般88床、結核18床)

地域センター病院として承認

平成2年12月 人工透析装置6台導入 人工透析開始(平成5年10月1台増設)

平成13年6月 (財)日本医療機能評価機構から「認定証」受理(認定番号137号:一般病院種別A)

平成17年7月 旧病院より移転開設 診療開始

診療科目=内科・外科・小児科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・整形外科・皮膚科
泌尿器科・精神科・リハビリテーション科

病床数 一般120床(開放型4床、救急2床含)

人工透析装置10台導入(多人数用透析装置)

MRI、マンモグラフィ、多目的X線TV装置導入

(2) 移転改築後の主な出来事

平成18年

4月1日 道立羽幌病院地域保健医療連携室創設

4月20日 院外報「春夏秋冬」創刊号発行

7月1日 禁煙外来診療の開始

平成 19 年

- 4月 1日 常勤医師 10 名から 3 名減員され 7 名となる
- 6月 1日 臨床研修協力型病院指定
- 7月17日 人工透析ベッド 2 台増床し 13 台となる
- 9月 1日 産婦人科医長転出し常勤医師 6 名となる
- 10月4日 救急隊員等指示等に関する協定書

平成 20 年

- 2月26日 助産師外来（ミルキー外来）開設
- 4月 1日 医師 1 名が増員され常勤医師 7 名となる
- 9月 1日 亜急性期入院医療管理料算定病床の導入 12 床
- 10月7日 婦人科外来再開（毎週火曜日）

平成 21 年

- 4月 1日 病床数 一般稼働 80 床、未稼働 40 床とする
亜急性期入院医療管理料算定病床 8 床へ変更
- 5月 1日 理学療法士の退職により亜急性期入院医療管理料算定病床取り下げ
- 7月 1日 病床数 一般稼働 60 床、未稼働 60 床とし、3 階病棟へ看護体制再編、4 階病棟休止
- 9月 1日 理学療法士が配置され亜急性期入院医療管理料算定病床 6 床で再開

平成 22 年

- 4月 1日 副院長 2 名が転出し常勤医師 5 名となる
道の広域遠隔医療普及推進事業により脳卒中・神経内科の診療支援システムを導入
- 10月1日 1 名退職し常勤医師 4 名となる

平成 23 年

- 1月 1日 副院長 1 名採用され常勤医師 5 名となる
- 3月24日 羽幌町内の民間団体等による地域医療を守る会「折り鶴」の設立
- 5月 1日 病床数 一般稼働 45 床、未稼働 75 床とする
亜急性期入院医療管理料算定病床 10 床へ変更
- 6月30日 副院長 1 名退職し常勤医師 4 名体制となる

平成 24 年

- 5月 1日 医師 1 名が採用となり常勤医師 5 名体制となる
- 6月 1日 簡易血糖値検診「プチっと検診」開始
- 10月31日 KKR 札幌医療センター斗南病院との連携による大腸検査「CT コロノグラフィ検査」開始
- 11月20日 訪問診療開始

平成 25 年

- 5月 1日 医師 1 名が採用となり常勤医師 6 名体制となる
- 10月24日 内科医師による健康出前講座の開始
- 11月5日 無医地区等での巡回診療開始（羽幌町内 2 ヶ所、苫前町内 4 ヶ所）

平成 26 年

- 1月 1日 内科医 1 名退職により常勤医 5 名体制となる
- 3月16日 小中学生を対象にキッズセミナーを実施
- 4月 1日 小児科医 1 名採用、内科医 1 名増により常勤医 7 名体制となる
医師事務作業補助者 1 名の配置（職員派遣）
- 8月 1日 レスパイト入院（介護者支援短期入院）開始
- 10月1日 副院長として内科医が 1 名増となり常勤医 8 名体制となる。
※副院長は焼尻診療所長を兼務（12 月 1 日付けで兼務解除）
- 10月1日 亜急性期入院医療管理料の廃止に伴う病床数の変更（一般 35 床、亜急性 10 床→一般 45 床）
- 12月1日 午後診療の再開（月・金曜日のみ）

平成27年

- 4月1日 院長（副院長から）、医療参事（院長から）、副院長、常勤医5名の計8名体制となる
- 4月1日 保健医療連携室に医療連携専門員2名を配置
- 6月1日 泌尿器科 第1・3週（木）を毎週（木）へ
- 7月1日 午後診療の拡大（水曜日を追加、月・水・金へ）
- 10月1日 MRI機器更新 運用開始
- 12月1日 画像診断装置（PACS）更新運用開始

平成28年

- 2月29日 オーダリングシステム運用開始
- 6月13日 地域包括ケア病床（12床）運用開始
- 10月1日 副院長退職により、常勤医7名体制となる

平成29年

- 3月21日 人工透析装置13台更新 運用開始
- 4月1日 地方公営企業法の全部適用 病院事業管理者設置
- 4月1日 院長が兼務、医療参事が退職により、常勤医6名、兼務医1名体制となる
- 4月1日 総合診療開始
- 10月1日 総合診療専門研修プログラム公表（基幹施設）

平成30年

- 4月1日 院長が常勤となり、常勤医7名体制となる
- 7月1日 地域包括ケア病床15床へ変更（3床増）
- 9月1日 皮膚科 毎週月曜日を金曜日へ
- 10月1日 骨密度測定装置更新
- 11月1日 フレイル外来開始

平成31年（令和元年）

- 3月29日 調剤システム更新
- 4月1日 総合診療専攻医1名増により、常勤医8名体制となる
- 4月1日 医師事務作業補助者1名増員（職員派遣）
- 4月1日 胃がんリスク検診開始
- 5月19日 （一社）北海道総合在宅ケア事業団羽幌地域訪問看護ステーション入居
- 6月30日 総合診療医1名退職により、常勤医7名体制となる

令和2年

- 3月1日 デジタルラジオグラフィ更新
- 4月1日 総合診療専攻医3名採用、転入1名、転出1名、退職1名により常勤医9名となる
- 4月1日 日本プライマリ・ケア連合学会 新・家庭医療専門研修プログラム認定
- 8月28日 人工呼吸器（2台）増設

令和3年

- 4月1日 常勤医師8名（総合診療医：転入2名、転出2名、退職1名）となる

令和4年

- 2月17日 CT機器更新、運用開始
- 4月1日 常勤医師5名（総合診療医：転入2名、転出5名）となる
- 4月1日 日本病院総合診療医学会 病院総合診療専門研修プログラム認定
- 4月1日 午後診療の変更（月・火・木→火・木）
- 9月30日 常勤医師4名（総合診療医：転出1名）となる

令和5年

- 3月 9日 Join（医療関係者間コミュニケーションアプリ）導入
- 4月 1日 常勤医師7名（総合診療医：転入3名）となる
- 5月22日 「HABOROプロジェクト」始動
- 7月31日 常勤医師6名（総合診療医：転出1名）となる
- 10月30日 常勤医師5名（総合診療医：転出1名）となる

令和6年

- 3月 1日 日本地域医療学会 地域総合診療専門医専門研修プログラム認定
- 4月 1日 常勤医師8名（総合診療医：転入4名、転出1名）となる

2【病院概要】

（1）施設概要

- 名称 北海道立羽幌病院
- 所在地 〒078-4197 北海道苫前郡羽幌町栄町 110 番地
TEL (0164)62-6060 / FAX (0164)62-6050
- 開設許可年月日 昭和 28 年 8 月 28 日
- 開設者 北海道病院事業管理者 鈴木 信 寛
- 管理者 院長 阿 部 昌 彦
- 敷地面積 20,246.16 m²（鉄筋コンクリート造 地上4階建て 延床面積 8,592.21 m²）
- 病床数 91床（稼働病床 45床【地域包括ケア病床 15床、一般 30床】、未稼働病床 46床）
- 診療科目
内科、外科、小児科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、精神科、リハビリテーション科
- 指定医療
健康保険、国民健康保険、結核予防法、原爆医療、労働災害、自立支援医療、救急医療告示、生活保護法、指定難病、小児慢性特定疾患
- 受付時間
 - 一般外来受付時間 8:00 から(予約のある方は予約時間まで)
 - 救急医療受付時間 全日(365日) 24時間体制

（2）承認基準

届出事項（令和6年4月1日現在）

	入院料 急性期一般入院料4
施設基準	(1) 基本診療料 一般病院入院基本料（急性期一般入院料4）、臨床研修病院入院診療加算（協力型）、救急医療管理加算診療録管理体制加算2、医師事務作業補助体制加算1（25対1）、療養環境加算、重症者等療養環境特別加算（1床）、医療安全対策加算2、感染防止対策加算2、医療安全対策地域連携加算2、患者サポート体制充実加算、後発医薬品使用体制加算1、急性期看護補助体制加算（25対1（看護補助者5割未満））、入退院支援加算1、総合機能評価加算、地域包括ケア入院医療管理料1、データ提出加算2、認知症ケア加算3、看護職員配置加算、せん妄ハイリスク患者ケア加算、小児科外来診療料、連携強化加算、サーベイランス強化加算、看護職員処遇改善評価料、情報通信機器を用いた診療に係る基準 (2) 特掲診療料 糖尿病合併症管理料、夜間休日救急搬送医学管理料、救急搬送看護体制加算、がん性疼痛緩和指導管理料、院内トリアージ実施料、小児科外来診療料、ニコチン依存症管理料、ハイリスク妊産婦共同管理料、

施設基準	がん治療連携指導料、医療機器安全管理料、糖尿病透析予防指導管理料、在宅時医学総合管理料 特定施設入居時等医学総合管理料、検体検査管理加算 1・2、 時間内歩行試験・シャトルウォーキングテスト、CT撮影及びMRI撮影加算、大腸CT撮影加算、 遠隔画像によるコンピューター画像診断（画像診断管理加算 2）、外来化学療法加算 2、 脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅲ、運動器リハビリテーション料Ⅲ、 廃用性リハビリテーション料Ⅲ、人工腎臓（慢性維持透析を行った場合 1）、 透析液水質確保加算、慢性維持透析濾過加算、導入期加算 1、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、酸素加算、 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術、手術通則 16 に掲げる手術、輸血管理料Ⅱ、 輸血適正使用加算、呼吸器リハビリテーションⅡ、二次性骨折予防継続管理料 2・3、外来腫瘍化学療法診 療料 2 (3) その他 入院時食事療養費（Ⅰ）、入院時生活療養（Ⅰ）
------	--

(3) 令和 6 年度の診療体制（令和 6 年 4 月 1 日現在）

○外来診療体制

	月		火		水		木		金		応援医師等	受付時間等
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
内科	○	—	○	○	○	—	○	○	○	—	当院常勤医師	8:00~11:00 13:30~15:00 ★は完全予約制
循環器内科	—	—	—	—	★	—	—	—	—	—	留萌市立病院 高橋院長 第 4 水曜	
呼吸器内科	—	—	—	—	—	—	○	★	—	—	第 1・3 木曜 重原医師	
消化器内科	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	第 2・4・5 木曜 佐々尾副院長	
禁煙外来	—	—	—	—	—	—	—	★	—	—	重原医師	
フレイル外来	—	★	—	—	—	—	—	—	—	—	佐々尾副院長	
内科・外科・整形 外科（総合診療医）	○	—	○	○	○	—	○	○	○	—	当院総合診療医	8:00~11:00 13:30~15:00
整形外科 （専門）	★	—	—	★	—	○	○	—	★	—	第 1 月曜：引野医師／水～木 曜：穴口医師／第 2, 4 火曜：渡 部医師／第 2, 4 月曜：覺田医師	完全予約制 金曜：八島医師
小児科	○	○	○	—	○	—	○	—	○	—	当院常勤医師 月 2, 3 回月曜 旭川医大 井上講師	8:00~11:00 13:00~15:00
婦人科	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	金野医師	8:00~11:00 13:30~15:00
眼科	—	—	★	★	—	—	—	—	—	—	旭川医大 毎週火	完全予約制
皮膚科	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	札幌医大	予約不要
耳鼻咽喉科	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	第 1・3・5 水 札幌医大	完全予約制
泌尿器科	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	札幌医大	8:00~10:30

※ ○は初診と予約、★は予約のみ（外科・整形外科の午前は、緊急性のある方のみ）

◇当院医師の体制

R6. 4. 1 現在

診療科	役職	氏名	ふりがな	備考
内科・外科・整形外科 (総合診療医)	院長	阿部 昌彦	あべ まさひこ	昭和 58 年 自治医大卒
内科・外科・整形外科 (総合診療医)	副院長	佐々尾 航	ささお わたる	平成 18 年 自治医大卒
小児科	医療担当 部長	高橋 富彦	たかはし とみひこ	昭和 60 年 旭川医大卒
内科・外科・整形外科 (総合診療医)	医長	富田 賢剛	とみた けんご	平成 30 年 北大医学部卒
内科・外科・整形外科 (総合診療医)	医師	寺田 真也	てらだ しんや	令和3年 金沢医大卒
内科・外科・整形外科 (総合診療医)	医師	増田 寛也	ますだ ひろや	令和3年 自治医大卒
内科・外科・整形外科 (総合診療医)	医師	多田 幸平	ただ こうへい	令和4年 札幌医大卒
内科・外科・整形外科 (総合診療医)	医師	越 勇樹	こし ゆうき	令和4年 札幌医大卒

◇ 医師の応援体制(札幌医大・旭川医大・留萌市立などより)

① 常勤医師がいない科

診療科	応援状況	派遣元	医師名
眼科	毎週火曜日	旭川医科大学	
皮膚科	毎週金曜日	札幌医科大学	
泌尿器科	毎週木曜日	札幌医科大学	
耳鼻咽喉科	月2～3回第1・3・5水曜日	札幌医科大学	
(専門)整形外科	月1回 第1月曜日	北海道地域医療振興財団	引野医師
(専門)整形外科	月2回 第2・4火曜日	わたべ整形外科医院	渡部院長
(専門)整形外科	毎週水曜日午後～木曜日午前		穴口医師
(専門)整形外科	月2回 第2・4月曜日午後		覺田医師
(専門)整形外科	毎週金曜日、月1回月曜日午前		八島医師
婦人科	毎週火曜日		金野医師

② 常勤医師がいる科

診療科	応援状況	派遣元	医師名
内科 (人工透析)	月2回 月・水・金のうち1回 火・木・土のうち1回	旭川赤十字病院 透析センター	小林センター長
小児科	月2～3回 月曜日	旭川医科大学	井上講師
外科	月2回 金～日曜日《宿日直》		染谷医師
			松野医師
内科	月1回 外来診療 月2～3回 金～日曜日《宿日直》	札幌医科大学(消化器・総合・乳腺・内分泌外科)	
	(循環器)第4水曜日	留萌市立病院	高橋院長
	(呼吸器)月2回 木曜日	愛内科クリニック	重原医師
	月1回 金～日曜日《宿日直》	旭川赤十字病院	大友救急科部長
	毎週金～日曜日《宿日直》	北海道地域医療振興財団	
	月1回 金～日曜日《病棟当番》	江別訪問診療所	日下院長、富田医師
	週1回 月《宿直》～火曜日《外来》		日下院長、富田医師、田中医師、二川原医師、渡部医師
月1回 金～日曜日《病棟当番》	昭和大学(小児循環器・成人先天性心疾患センター)	喜瀬准教授、後藤医師	

(4) 診療圏域

4町1村 15,308人 [令和5年1月1日 住民基本台帳]

* 留萌中部 10,178人 (苫前町 2,795人 羽幌町 6,314人 初山別村 1,069人)

* 留萌北部 5,130人 (遠別町 2,355人 天塩町 2,775人)

三次圏	二次圏	人口	高齢者数	高齢化率	病床数					
					一般	療養	精神	結核	感染症	計
道北	留萌	40,920	16,742	40.9%	430	222	99	0	4	755
	(南部)	25,612	10,327	40.3%	246	167	99	0	4	516
	(中部・北部)	15,308	6,415	41.9%	184	55	0	0	0	239
	上川中部	373,608	131,494	35.2%	4,359	1,536	1,056	20	9	6,980
	上川北部	57,833	22,015	38.1%	556	301	55	0	4	916
	富良野	37,976	13,190	34.7%	327	97	170	0	4	598
	宗谷	58,069	20,643	35.5%	494	132	70	0	4	700
	道北計	568,406	204,084	35.9%	6,166	2,288	1,450	20	25	9,949
北海道計		5,095,703	1,669,002	32.8%	52,284	18,704	19,501	146	97	90,732

※人口・高齢化率=R5.1.1現在 病床数=R5.10.1現在

(5) 道立羽幌病院の診療状況(R4年度実績)

- ① 一日平均外来患者数 ・平日患者数(診療日数 243日 9:00~17:30) 139.4人
 ・時間外患者数(平日の17:30~翌日9:00) 1.2人
 ・休日患者数(土・日・祝祭日(122日)) 4.6人
- ② 一日平均入院患者数 23.7人

○年間延入院患者数の年次推移(単位 人)

年 度	内 科	外 科	産婦人科	小児科	整形外科	計
H25	7,993	684	0	0	1,842	10,519
H26	7,849	396	0	22	2,154	10,421
H27	7,507	115	0	27	2,465	10,114
H28	5,884	155	0	7	2,326	8,372
H29	7,533	124	0	0	1,516	9,173
H30	7,920	135	0	15	1,697	9,767
R1	10,128	45	0	10	1,753	11,936
R2	7,857	49	0	4	1,199	9,109
R3	7,426	61	0	0	2,444	9,931
R4	6,911	93	0	0	1,652	8,656

(再掲)地域包括ケア病床(15床)の延入院患者数(単位 人) H28.6.13 運用開始

年 度	内 科	外 科	整形外科	計	備 考
H28	811	21	1,167	1,999	6/13~12床
H29	1,461	55	850	2,366	
H30	2,577	31	1,125	3,733	7/1~15床
R1	2,738	4	1,033	3,775	
R2	2,356	12	737	3,105	
R3	1,710	30	1,327	3,067	
R4	2,045	63	857	2,965	

○年間延通院患者数の年次推移(単位 人)

	内科	外科	産婦人科	小児科	整形外科	耳鼻咽喉科	眼科	皮膚科	泌尿器科	精神科	計
H25	28,014	2,363	864	2,334	10,502	939	2,917	1,369	1,317	221	50,840
H26	26,898	2,438	822	3,243	11,324	956	2,790	1,661	1,285	177	51,594
H27	26,689	2,158	896	2,885	8,592	943	2,863	1,921	1,433	156	48,636
H28	25,776	2,186	1,101	2,715	8,368	928	2,462	1,965	1,559	133	47,193
H29	24,959	690	1,122	2,037	6,038	872	2,089	1,904	1,473	120	41,304
H30	25,054	783	1,091	1,803	6,571	824	2,016	1,987	1,395	1	41,525
R1	25,330	682	1,079	2,060	7,071	797	1,870	1,995	1,420	1	42,305
R2	24,327	640	960	967	5,959	723	1,712	1,870	1,498	0	38,656
R3	18,605	933	963	970	6,205	670	1,745	1,752	1,412	32	33,287
R4	16,174	437	900	1,101	4,847	643	1,543	1,615	1,318	102	28,680

○令和4年度救急患者受入状況（単位 人）

	総数	内科	外科	小児科	整形外科	産婦人科	その他
患者数	1,014	652	126	65	141	0	30
(うち救急車)	346	260	26	4	54	0	2
治療状況	入院	183	153	3	0	26	1
	処置	4	398	120	64	93	29
	他病院搬送	127	101	3	1	22	0
	救急車搬入	84	63	1	0	20	0

○救急患者受入状況の年次推移（単位 人）

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
休日・時間外患者総数	1,355	1,422	1,295	1,141	1,128	1,308	1,377	1,019	1,079	1,014	
再掲	救急車	362	356	377	321	348	310	320	306	321	346
	他院搬送	102	96	69	92	88	104	113	95	83	127
	ドクヘリ	6	8	13	5	7	12	14	6	8	15

3【道立羽幌病院の理念、職業倫理等】

(1) 基本理念

- 地域センター病院としての医療機能の充実に努めます。
- 患者さまのための医療サービスの向上に徹します。
- 職員一同、道民の皆様への奉仕の精神を忘れません。

(2) 看護理念

- 患者さまの心に寄り添い、“もてる力”を支える看護を提供します。
※“もてる力”とは、十分な観察と判断から導き出された、個々の患者に備わっている力である。

(3) 患者さまの権利

- いかなる時も、だれもが、平等に最善の医療を受けることができます。
- 診断、検査、治療、看護、予測される危険性や今後の見通しなどについて、分かりやすい言葉や方法による十分な説明と情報提供を受けることができます。
- 個人の尊厳とプライバシーが守られます。
- 自己の自由な意志による医療行為の選択あるいは拒否をすることができます。
- 診療情報の開示やセカンド・オピニオンを求めることができます。

(4) 道立羽幌病院職員倫理綱領

北海道立羽幌病院は地域の医療を守るために、職員が遵守すべき行動基準を「職業倫理要綱」として、次のとおり定める。

① 病院の使命

職員は患者さまの生命・尊厳・権利を尊重し、思いやりと責任をもって、医療の提供に最善の努力を払わなければならない。

② 研修・教育

職員は、研修に励み、医療に関する諸学の知識と技術の習得に努めるとともに、後進の教育に力を尽さなければならない。

③ 医療記録の保管と守秘義務

職員は、患者さまの記録を完備し、これを確実に管理するとともに、患者さまの個人情報漏洩してはならない。

④ 地域社会への協力

職員は、地域住民の方々の疾病予防及び健康増進に努め、他の機関と積極的に協力しなければならない。

⑤ 病院の適正な運営

職員は、医療人としての自覚を持ち、病院の管理運営にあたり、業務の効率化・省力化を図り、より良い医療サービスを提供するとともに、医療の質の向上を目指さなければならない。

4【病院組織機構等】

令和6年4月1日現在 17 ページのとおり

○院内の会議・委員会等設置状況(令和6年4月1日現在)

会議開催	会 議 ・ 委 員 会 等
毎 週	(拡大)幹部会議(毎月最終週を除く)、地域包括ケア病床ベッドコントロール会議、看護部門委員会
月 1 回	院内会議、経営推進会議、院内感染防止対策委員会、医療安全管理委員会、安全衛生委員会、診療報酬請求漏れ対策委員会、ICT 院内感染対策チーム、医療安全管理部会、栄養給食委員会、褥瘡対策委員会、栄養支援サポートチーム、サービス向上委員会、地域連携室会議、地域包括ケア病床運営カンファレンス、透析機器委員会、看護師長会議、副看護師長会議、身体的拘束最小化チーム
年 1 回	医療ガス安全管理委員会、臨床検査委員会
年 2 回	医療従事者負担軽減推進委員会、DPC コーディング委員会、医療放射線安全管理委員会、FLS チーム
年 3 回	薬事委員会兼医療器具選考委員会、総合診療専門研修プログラム管理委員会
年 6 回	輸血療法委員会、透析予防診療チーム
必 要 時	医療事故対策委員会、診療会議、診療録管理委員会、機種選考委員会、入札参加者指名選考委員会、院外処方・調剤問題協議会、院内研修委員会、倫理委員会、防火対策委員会

5【病院の特徴】

(1) 当 院 の 特 色

① 天売、焼尻(離島)等へ医師、看護師等を派遣し、離島医療を支援しています。

※令和4年度については、新型コロナウイルス感染防止等のため未実施

また、天売診療所・焼尻診療所とつないでいる遠隔診療装置を活用し、緊急時における離島診療支援を行っています。

② 圏域の救急医療休日夜間救急告示病院としての役割を担っています。 2の(5)参照

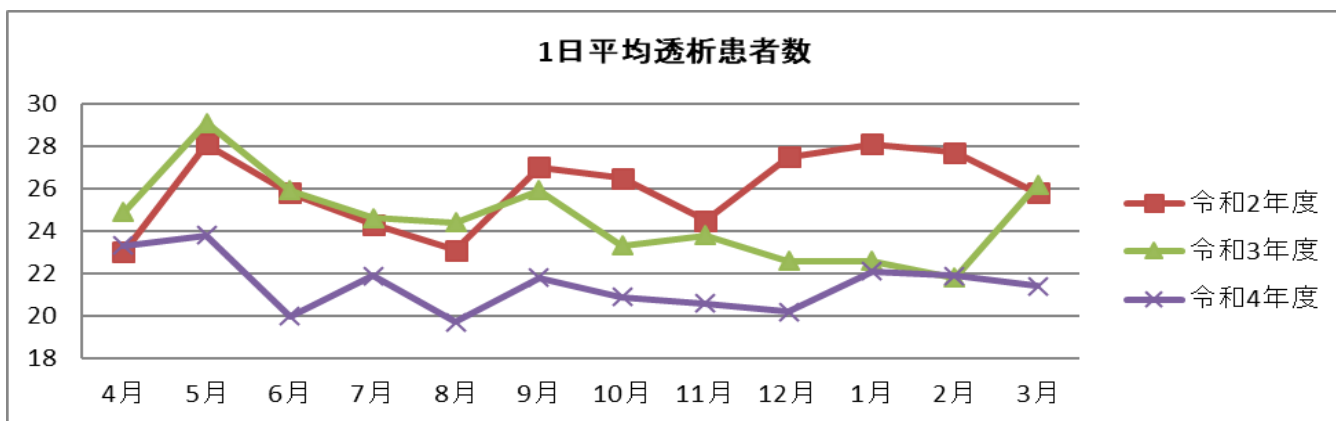
③ 交通事情の悪い地域に住む患者に対する巡回診療を行っています。

	地 区	会 場	実施日	診療時間	R4 延件数
苫前町	九 重	九重コミュニティセンター	偶数月第3木曜日	14:30~	7件
	小 川	小川研修センター	奇数月第3木曜日	15:30	20件
計					27件

④ 身体的要因から通院が困難な患者のために訪問診療を行っています。

在宅場所	場 所	登 録 者 数 (R5.3.31 現在)	実 施 日 ・ 診 療 時 間	R4 延 件 数
患 者 宅	羽 幌 町	7名	毎月第1・3月・木曜日 (15:30~17:00)	60件
	苫 前 町	3名		20件
グ ル ー プ ホ ー ム	はぼ〜れ (羽幌町内)	15名	毎月第3月曜日 (14:00~15:00)	157件
	陽だまりの家 (羽幌町内)	11名	毎月第1木曜日 (14:00~15:00)	133件
	優 芽 (苫前町古丹別)	9名	毎月第3木曜日 (14:00~15:00)	90件
	フルールハピネス (羽幌町内)	23名	毎月第1・3月曜日 (14:00~15:00)	212件
計				672件

⑤ 留萌中部・北部地域のセンター病院として、多くの患者に人工透析療法を実施しています。(13床)



(2) 施設の特徴

- 建物外部については、病院を訪れる人を温かく迎え、安心して快適な療養を提供する医療サービス施設として、親しみやすく飽きのこない外観としています。
- 建物の外装材は1階に道庁赤レンガを思わせるレンガ積み、2階より上階はタイルとし、いずれも温かみのある暖色系の茶色をベースとする素材の組み合わせとしています。
- 留萌地域の厳しい気象条件を勘案した外断熱工法、耐久性に配慮した外装材、光庭による自然採光の活用など、室内環境の向上や維持管理コストの低減に配慮しています。
- 建物内部は来院者がわかりやすいように受付、ロビー、外来部門、病棟部門などそれぞれの機能毎に配置しています。
- 施設全体にバリアフリーを考慮して、車椅子用トイレ、点字ブロック、手すりの設置や段差の解消など、身体の不自由な人に配慮しています。

6【病院の運営方針】

(1) 病院機能の強化

- ① 留萌医療圏における中核医療機関として、離島及び地域医療機関との連携や支援体制の整備を図り、医師の派遣、機器の共同利用及び地域の医療技術者を対象とした研修会の開催など、地域医療支援機能の充実に努めています。

平成18年4月1日 道立羽幌病院地域保健医療連携室を創設し、平成29年4月1日からは、地域連携室として、室長1名、副室長1名、医長1名、医療連携専門員2名体制で、さらに平成31年4月1日からは副室長1名を増員し、病病連携、病診連携を通じて患者様が安心して治療を行っていただければよう支援を行っています。

○ 令和4年度 医療連携患者紹介等実績

当院から他医療機関への患者紹介	件数	他医療機関から当院への患者紹介	件数
① 留萌市立病院（留萌市）	248	① 留萌市立病院（留萌市）	180
② 旭川赤十字病院（旭川市）	89	② 旭川赤十字病院（旭川市）	67
③ 留萌セントラルクリニック（留萌市）	50	③ わたべ整形外科医院（留萌市）	55
④ 旭川医科大学病院（旭川市）	36	④ 留萌セントラルクリニック（留萌市）	54
⑤ 苫前クリニック（苫前町）	27	⑤ 旭川医科大学病院（旭川市）	29
⑥ 加藤病院（羽幌町）	22	⑥ 旭川厚生病院（旭川市）	24
⑦ 旭川厚生病院（旭川市）	21	⑦ 札幌医科大学付属病院（札幌市）	23
⑧ オロロンライン眼科（留萌市）	17	⑧ 道立天売診療所（羽幌町）	22
⑨ 札幌医科大学付属病院（札幌市）	16	⑨ 加藤病院（羽幌町）	18
⑩ 手稲溪仁会病院（札幌市）	13	⑩ 初山別診療所（初山別村）	16
⑪ 旭川医療センター（旭川市）	11	⑪ 札幌心臓外科クリニック（札幌市）	15
⑪ 初山別診療所（初山別村）	11	⑫ 苫前クリニック（苫前町）	14
⑪ 斗南病院（札幌市）	11	⑫ 苫前厚生クリニック（苫前町）	14
⑭ 荻野病院（留萌市）	9	⑭ 斗南病院（札幌市）	12
⑮ 札幌心臓血管クリニック（札幌市）	8	⑭ 西原腎泌尿器科クリニック（留萌市）	12
⑮ 市立旭川病院（旭川市）	8	⑯ オロロンライン眼科（留萌市）	11
⑮ 道立天売診療所（羽幌町）	8	⑯ 道立焼尻診療所（羽幌町）	11
⑮ 西原腎泌尿器科クリニック（留萌市）	8	⑯ 旭川医療センター（旭川市）	9
⑮ 道立焼尻診療所（羽幌町）	8	⑯ 札幌厚生病院（札幌市）	9
⑮ わたべ整形外科医院（留萌市）	8	⑯ 手稲溪仁会病院（札幌市）	9
⑰ 市立札幌病院（札幌市）	7	⑰ 遠別国保病院（遠別町）	8
⑰ 遠別町立国保病院（遠別町）	6	⑰ 市立旭川病院（旭川市）	8
⑰ 札幌厚生病院（札幌市）	5	⑰ 砂川市立病院（砂川市）	5
⑰ たけうち内科循環器医院（留萌市）	5	⑰ 北海道大学付属病院（札幌市）	5
⑰ 深川市立病院（深川市）	5	⑰ 荻野病院（留萌市）	4
⑰ 北海道大学付属病院（札幌市）	5	⑰ 市立札幌病院（札幌市）	4
⑰ JCHO北海道病院（札幌市）	4	⑰ 深川市立病院（深川市）	4
⑰ 砂川市立病院（砂川市）	4	⑰ 旭川リハビリテーション病院（旭川市）	3
その他	135	その他	87
合計（100医療機関）	805	合計（87医療機関）	732

② 留萌医療圏における二次救急医療機能の充実を図るため、関係機関との調整などを進め、救急告示病院としての役割を担っています。

必要に応じ平成 21 年度就航の道北ドクターヘリによる搬送を実施しています。

平成 24 年 12 月、病院隣接地に羽幌町のヘリポートが完成したことにより、より迅速な患者搬送が可能となっています。

救急医療受入実績及び救急患者受入状況の年次推移は、2（5）参照

③ 医師及び医療技術者については、患者に信頼される良質な医療を提供する観点から、安定的な確保に努めています。

ア 医師については、法令に基づく配置数を確保し診療体制を充実するため、北海道道立病院局が中心となって、職員採用に向けて札幌医科大学や旭川医科大学に対して協力を要請しているほか、自治医科大学の義務年限経過後の医師の採用や道外の医育大学に対する協力要請など行っています。

また、平成 30 年度には総合診療専門研修プログラム、令和 2 年度には新・家庭医療専門研修プログラム、令和 4 年度には病院総合診療専門研修プログラム、さらには令和 5 年度からは地域総合診療専門医専門研修プログラムの認定施設として、地域医療や総合診療、家庭医療を志す医師を受け入れる体制を強化しています。

イ インフォームド・コンセント（治療内容を十分理解し納得した上での治療への同意）の充実を図るため、検査・治療の内容、薬の作用などの診療情報の提供に努めています。

ウ 医療の標準化を図るため、クリニカル・パス(疾患別患者の検査と治療内容を標準化し、スケジュール管理するもの)の推進について検討しています。

エ アンケート調査の実施やご意見箱の設置などにより、患者ニーズを把握し、その結果を踏まえて、サービスの改善に努めています。

オ 医師臨床研修実施病院の協力病院となっており、初期臨床研修 2 年目の医師の臨床研修を受け入れているほか、医学生、看護学生、栄養学生等の実習を受け入れています。

○令和 4 年度 医師臨床研修、学生実習等受入状況

区分	医師臨床研修	医学生実習	看護学生実習	栄養学生実習	救急救命士実習	PT 学生実習
実人数	12 名	27 名	5 名	—	30 名	2 名
延日数	235 日	253 日	1 日	—	46 日	30 日
施設数	6 病院	3 大学	1 大学	—	1 組合	1 大学

④ 患者待ち時間の短縮

患者の待ち時間を短縮するため、再診予約制や院外処方せん発行の拡大等を行っています。

⑤ 喜ばれる食事の提供

入院患者への食事療法にきめ細かく対応することはもとより、嗜好調査や適時・適温給食の実施、選択メニューの拡大など、患者から喜ばれる食事の提供に努めています。

(2) 地域の保健・予防活動への支援

- ① 病院内での検診や予防接種などを拡大し、地域における保健・予防活動、福祉事業への支援に努めています。

○令和4年度 道立羽幌病院地域各種業務、委員会等連携・協力状況

業務・委員会等の項目	依頼、要請機関	派遣職種	回数/年
老人施設等医師業務	町村役場	副院長	47回
介護、障害認定業務	町村役場	副院長	12回
乳幼児健診等業務	町役場	医療担当部長、医長	19回
羽幌町介護保険事業計画審議会委員（書面）	羽幌町	副院長	1回
羽幌町地域包括支援センター運営協議会委員（書面）	羽幌町	副院長	1回
羽幌町地域密着型サービス運営協議会委員（書面）	羽幌町	副院長	1回
羽幌町はいかい高齢者等SOSネットワーク（書面）	羽幌町	副総看護師長	1回
羽幌町地域訪問看護ステーション運営協議会委員長（書面）	羽幌町地域訪問看護ステーション	副院長	1回
地域医療構想調整会議	保健所	院長、事務長	4回
圏域連携推進会議関係	保健所	主幹	—
看護協会関係（Web等）	看護協会	総看護師長ほか	6回
防火管理業務（書面）	消防組合	総務課長	1回

- ② 住民に健康管理の大切さ等を理解してもらうため、内科医が住民の集会等に出向く「健康出前講座」を行っています。

※令和4年度については、新型コロナウイルス感染防止のため未実施

- ③ これからの地域を担う小中学生に、道立羽幌病院が行っている各種検査や模擬治療を体験してもらい、医療に興味をもってもらうとともに病院の重要性を理解してもらうため「キッズセミナー」を、令和4年度は新型コロナウイルス感染防止のためインターネット動画配信により開催しました。

7【これからの病院運営方針】

(1) 病院機能の強化

- ① 留萌医療圏における中核医療機関として、引き続き、離島等の医療機関との連携や支援体制の整備を図り、医師派遣、機器の共同利用及び地域の医療技術者を対象とした研修会の開催などに取り組むとともに、今後は、院内に配置した訪問看護ステーションなど、地域の関係者とより緊密な連携を図り、地域に密着した医療を提供します。
- ② 留萌医療圏における二次救急医療機能の充実を図り、地域の医療機関や市町村等との調整を進め、24時間救急医療に努めます。
- ③ 医師及び医療技術者については、患者に信頼される良質な医療を提供する観点から、安定的な確保に努めます。

ア 医師については、法令に基づく配置数を確保し診療体制を充実するため、その採用に当たっては、道内三医育大学に対して協力を要請するほか、自治医科大学の義務年限経過後の医師の採用や、道外の医育大学に対する協力要請などに努めます。

なお、医師の確保方策の一つとして、臨床研修の充実に努め、総合診療専門医の拠点化を目指します。

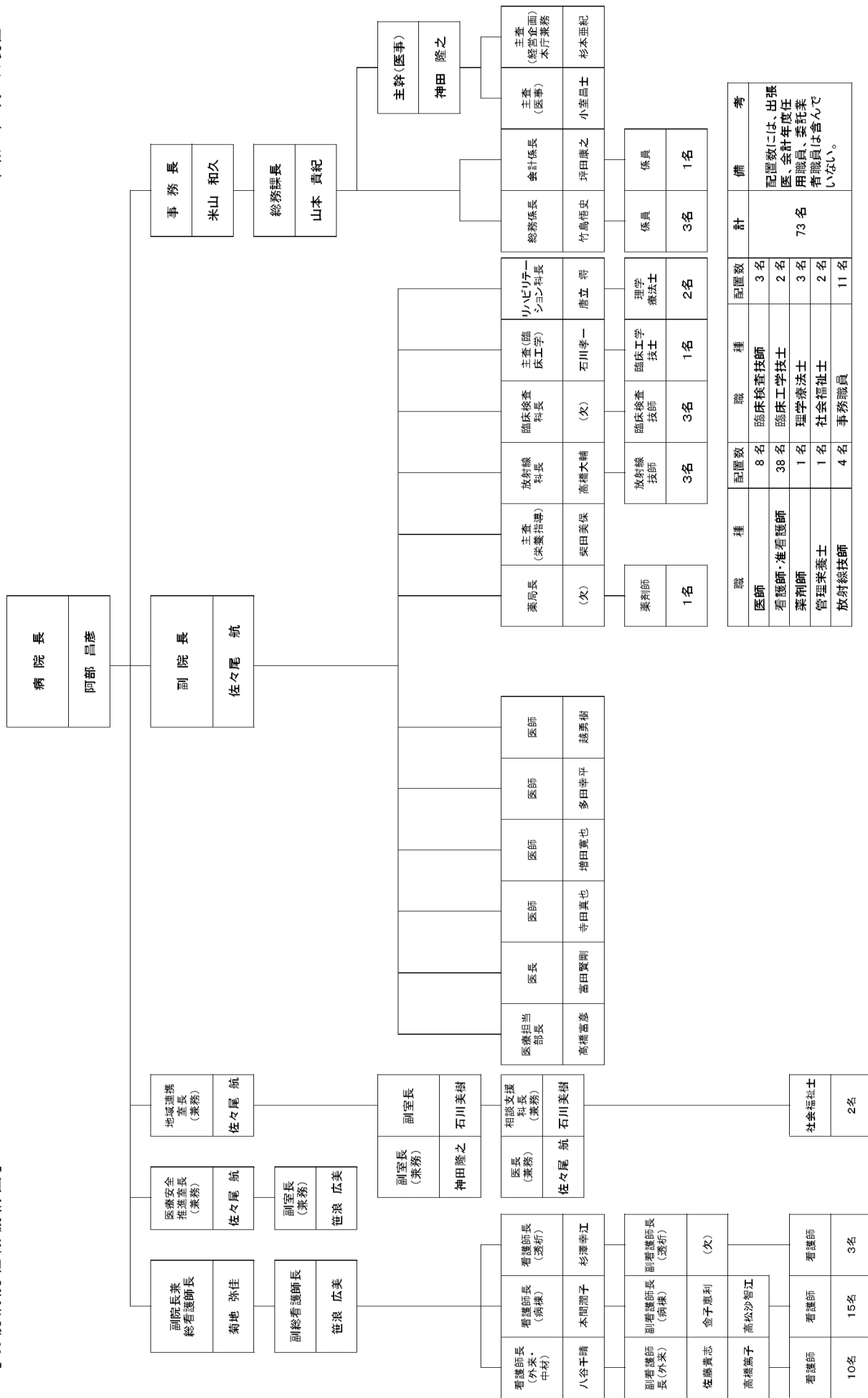
イ 看護師、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師等の医療技術者については、医療の質の向上を図る観点から、必要な人数の配置に努めます。

(2) 業務の効率化、経費の削減

施設及び医療機器、備品、物品等の保守管理および整備に努めるとともに、電気代や消耗品等の節約を図り経費の節減に努めます。

【羽幌病院組織機構図】

令和6年4月1日現在



北海道立羽幌病院

〒078-4197

苫前郡羽幌町栄町 110 番地

TEL:0164-62-6060

FAX:0164-62-6050

(地域連携室FAX:0164-62-3080)